



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

心臓の虚血再灌流障害に対する可溶性Fas遺伝子治療
の試み –
最近開発されたガットレスADVベクターを用いた検
討 –

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 湊口, 信也 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/625

は し が き

Fas-ligand Fas 系は強力なアポトーシス誘導系であり、一方、Fas の splicing により生じた可溶性 Fas (sFas) は Fas-ligand と Fas の結合をブロックするためにアポトーシスをブロックすることができる。一般に心筋梗塞後には左室リモデリング、心機能低下が生じるが、sFas により Fas-ligand Fas 系をブロックすることにより左室リモデリング、心機能低下を抑制できるという仮説をたてた。

本書は、科学研究費補助金（基盤研究(C)(2) “慢性心不全に対するアポトーシス抑制因子可溶性 Fas 遺伝子治療 - 新たに開発されたガットレス adenovirus vector を用いた検討 -” についての研究に関する総括的研究成果報告書である。